つるさき

船越神社

摂末社巡拝⑨

都窪郡早島町大字早島 215-5　　祭神　船越大神

発行所
鶴崎神社
早島町早島2220
〒701-0304
TEL
FAX 482-0097
URL
www6.ocn.ne.jp/
~turusaki/

当社は、船越大神を祭神として祀り、船越一族二十一戸の氏神として守られている。

早島が未だ瀬戸内に浮かぶ小島であった頃、吉備津彦命が四道将軍の一人として西道（吉備国）に派遣されその行幸のとき、命の乗った船が妹尾村のあたりで干潟に隔てられ着岸困難となった。

その時、島民の大河という者が命の船の着岸に力を尽くし、無事着岸する事ができた。

命は大河を呼んで「船越」の別称を授けた。その後、大河は船越と改姓した。船越の死後、その子孫は船越大神と篤く崇敬して社殿を建立し、手厚く祀った。

その後、寛永五年（1628）に早島町市場松尾に社殿を移築した。また、平成十一年四月鶴崎神社に合併し、同十二年五月県道拡幅工事に伴い、境内地を東側斜面に移転して社殿を改築した。

毎年五月二十五日（春祭）、十月二十五日（秋祭）には、船越一族が参集し、祭典を執り行っている。

鶴崎神社拝殿改築

当社は正中年間（1324～1326・鎌倉）に八幡神社を祀ったのが創祀で、その後、貞和六年（南北朝）に吉備津神社から吉備津彦命荒魂を勧請し、現在の双殿造りの様式となりました。

早島町出身の鉱山師安原備中守や早島領主戸川安尤等の崇敬が篤く早島、豊洲、帯江の総氏神様として氏子からも広く崇敬されて来ました。

享保十一年(1726)神階正一位を賜り、明治四年には郷社に列格し、本殿の大きさや造りからも近郷希な格式と規模を誇っています。

本殿を始めとする社殿を保存するため今日まで幾度かの改築を行って参りましたが、最近では明治二十七年に現在の幣殿、拝殿等を改築したのが最後で、その後幾度か修理を重ねて参りましたが、戸川公陣屋からの移築とされる拝殿は、内部の柱が全て傾斜し、屋根瓦は全体にズレが生じ雨漏りも発生し、軒口の瓦の落下も始まっており、このまま放置すると参拝者に危険を及ぼしかねない状況です。

神社では総代会を開催し、対策を協議したところ、拝殿の老朽化は全体に進み、最早修理は不可能で、改築を行うとの結論に達したため、平成十五年七月役員による玉井宮東照宮、伊勢神社の視察を行い、平成十六年四月には「社殿改築準備委員会」を設置し、本年三月まで三回の会議を重ねて情報収集、改築の規模、方法等を協議しました。

今後は、本年六月任期満了に伴う責任役員並びに総代改選の後、「社殿改築準備委員会」の答申を受け、「社殿建築委員会」を設置し、本格的な改築に向けての協議を進める予定でございます。

何れに致しましても近い将来社殿の改築工事は避けられない状況にあり、現在当社の最優先課題として神職、総代一丸となってこの事業に取り組んでおります。

氏子の皆様におかれましては、六〇〇年に亘る当社の歴史と伝統を後世に残すべくご事情をお汲み取り賜りまして、その時節が参りましたら何卒絶大なるご協力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

神道Q＆A

【質問】

神社には「○○神宮」とか「○○神社」、「○○宮」など様々な名称がありますが、その名称はどのように区別されているのですか？

【答え】

「神宮」、「神社」の名称は、神社名に付される称号で社号といいます。

現在、単に「神宮」といえば、伊勢の神宮を示す正式名称として用いられています。また「○○神宮」の社号を付されている神社には、皇室の祖神である天照大御神をお祀りしている霧島神宮や鹿児島神宮、また天皇をお祀りしている平安神宮や明治神宮などがあります。

このほか、石上神宮（いそのかみじんぐう）や鹿島神宮、香取神宮など特定の神社に限られています。

これに対して「神社」は、その略称である「社」とともに一般の神社に対する社号として広く用いられています。

また、「宮」や「大社」などの社号もあり、「宮」は天皇や皇族をお祀りしている神社や由緒により古くから呼称として用いられている神社に使われますが、岡山県においては、「八幡さん」の名称が備中国、美作国では「八幡神社」ですが、備前国では殆ど「八幡宮」となっています。

「大社」はもともと、天照大御神の子孫に国譲りをおこない、多大な功績をあげた大国主命を祀る出雲大社を示す社号として用いられてきました。

しかし、現在「大社」は広く崇敬を集める神社でも使われています。

このほか、社号と異なりますが、古くから神様の名前に「大神」や「大明神」、また神仏習合の影響による「権現」といった称号を付して、社号に類するものとして一般的に用いられ、信仰されている社もあります。

このように神社により社号は異なりますが、それぞれの神社に対する人々の篤い信仰にはいささかの変わりもありません。

玉垣改修

境内中段西側の玉垣（大正八年八月建立）が台座から遊離し危険な状態になっていた為、三月十八日に㈲坪井石材店の施工により、アンカーボルト及び接着剤により修理を行った。

台風の被害

昨年八月三十日の台風十六号及び十月二十日の台風二十三号による被害状況。

記

一、八幡神社本殿右側千木落下
二、拝殿、上社務所瓦一部剥離落下
三、両本殿亀腹漆喰剥離
四、境内檜三本倒木　数本傾斜

六千人が参拝

正月三ヶ日

平成十七年の新春は、大晦日の朝から降った大雪が残る近年希な年明けとなった。

午前〇時路面が凍結する中、防寒着に身を包んだ参拝者が拝殿の鈴に列を作り、新しい年の平安を祈った。

午前十時からは例年通り、境内の特設テントで総代や氏子有志による紅白の餅つき、社務所では甘酒接待、拝殿では御神酒が参拝者に振る舞われた。

また、恒例になっている干支「折り紙」は、紅白の鶏が特設舞台に展示され、その前では「多聞会太鼓クラブ」による早島い草太鼓と「岡山銭太鼓つばさ会」による銭太鼓・傘踊りの公演が行われ、勇壮な太鼓の音や息の合った踊りに参拝者から大きな拍手が送られた。

（境内で公演された銭太鼓）

（初詣をする参拝者）

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祭事暦

五月十四日（土）［午後七時］
　春季大祭宵祭（露店あり）
五月十五日（日）［午前十時］
　春季大祭【供膳祭】
七月三十日（土）［午後五時］
　夏越祭【輪くぐり祭】（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。